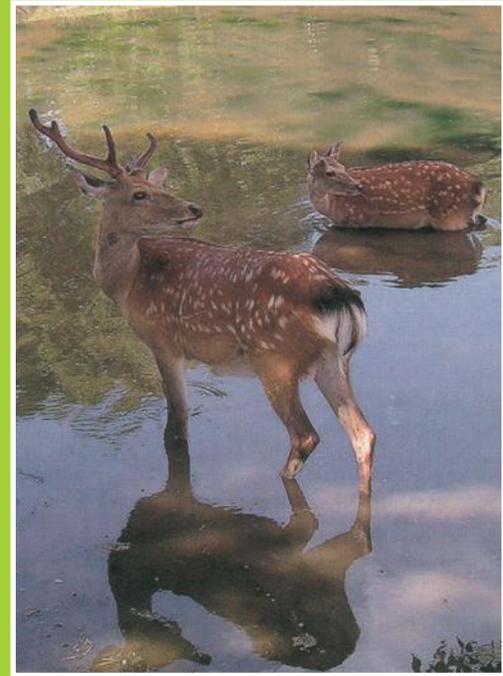


NARA DEER

奈良のシカ



目次

- ニホンジカの分布…………… 2
- オスとメス…………… 3
- 角の成長…………… 4
- 奈良のシカ…………… 5
- 奈良公園のシカの1年…………… 7
- 奈良公園のシカマップ…………… 9
- 奈良公園のシカの食べ物 ー植物食中心ー …… 11
- シカが作った奈良公園の景観…………… 13
- 奈良公園のシバ地はシカが管理人…………… 15
- シカの糞だらけにならない奈良公園…………… 16
- シカとともに生きる文化・伝統…………… 17
- シカとともに生きる工夫…………… 17



■ニホンジカの分布

奈良公園のシカはニホンジカCervus nipponの亜種です。ニホンジカは日本以外にも極東ロシアから中国大陸を経てベトナムや台湾などに分布していましたが、中国大陸では多くの地域で絶滅しています。日本には北は北海道から、南は慶良間列島にまで分布し、棲息する地域により亜種としてエゾシカやホンシュウジカなどと呼ばれています。

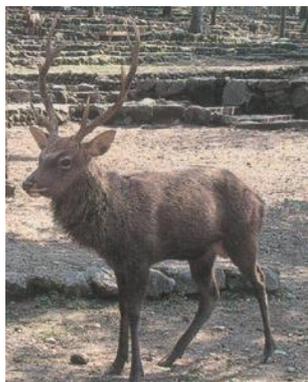


北に棲息する亜種ほど体が大きく、オスは130kgにも成長しますが、奈良公園では90kgくらい。最も小さいケラマジカは30kgくらいです。ニホンジカのメスはオスより一回り小さく、オスのみに角があります。





■オスとメス



冬毛のオスシカ



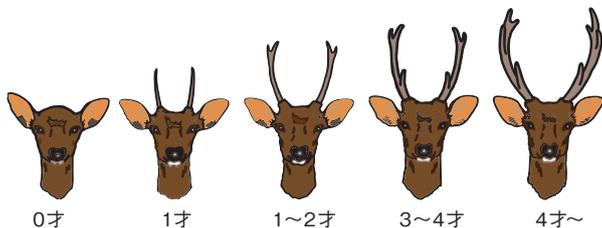
冬毛のメスシカ

夏になるとシカはオスもメスも表紙のような赤褐色に白斑のある「鹿の子模様」と呼ばれる夏毛に変わります。しかし、秋になるとオスは暗褐色の冬毛に変わり、鬣(タテガミ)が伸びてきます。メスも冬毛は褐色に変わりますが、オスよりは明るい体毛です。



冬毛から夏毛へ(メスシカ)

■角の成長



シカの角は1才になると伸び始めます。その後、1年に1尖ずつ増えると言われています。しかし、栄養状態や怪我などによって角の成長も個体によって違ってきます。特に、高齢になると小さくなる場合があります。シカは交尾期にハーレムを作るため、角をつき合わせてオス同士で争いますが、その際に角が長く、大きい個体ほどハーレムを作ることができます。

Deer memo



■奈良公園のシカの1年



角は、春になれば自然に落ちます。その後、「袋角」と呼ばれるピロード状で濃茶色の膜に被われた柔らかい角が伸びてきます。



夏を過ぎると袋角は枝分かれして大きく、硬くなっていきます。



秋の交尾期までには角が伸びきり、硬くなります。この頃、鬣も伸び、ハーレムを持つために、オス同士争うことがあります。



角を切られたオスシカ。オス同士の争いの結果、ときには怪我もします。交尾期のオスシカは気が荒くなっているため、人に対しても攻撃してくることがあり危険です。

要注意

| | | | | | | | | | | | | |
|----|-------|---|----|-----|---|------|---------|-----|---|----|----|----|
| オス | 縄張り解消 | | 落角 | 角成長 | | 脂肪蓄積 | 交尾期・角きり | | | | | |
| 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| メス | 妊娠期 | | | 出産 | | 子育て | | 交尾期 | | | | |

要注意



3～4月には、妊娠しているメスシカは保護され、鹿苑で出産します。その後、出産を終え7月中旬に公園に放されます。保護されなかったシカは草むらで出産します。子育て中の母シカは子を守るために神経質になっているため、近づくと危険です。

要注意



奈良公園では、1頭のメスシカが数頭の子シカに授乳する姿を見ることができます。鹿苑で、多くの母子がともに生活をしたことによると思われます。

■シカが作った奈良公園の景観



ディアライン deer line

奈良公園では、およそ2m以下は枝がなく、見通しの良い林となっていますが、これはディアラインと呼ばれ、シカが届く範囲の枝葉を食べることで形成されます。林内には、ワラビ、アセビなど、シカの嫌いな植物だけが生存しています。



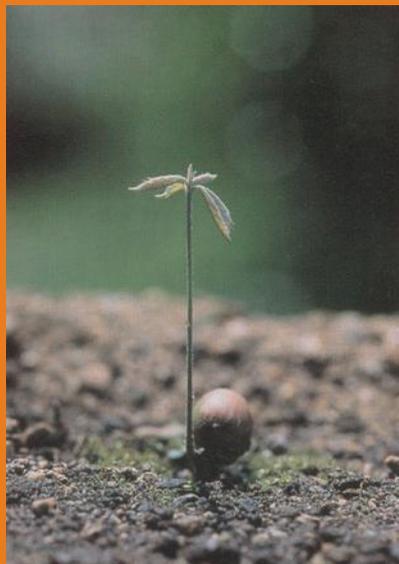
シカは背伸びして届く枝葉は食べ尽くしてしまっています。



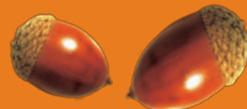
東大寺裏のイワヒメワラビ



春日大社参道に多いアセビ



写真撮影：伊藤ふくお氏



奈良公園にはドングリの生る樹が沢山あります。ドングリが生るのは主にシイ・カシ類ですが、もともと奈良公園一帯はそれらシイ・カシ類が優占する森林だったと考えられます。そのため、今でも多くのドングリを見ることができるのです。特に、春日山原始林は近畿地方にわずかに残された貴重な照葉樹林です。しかし、近年は増加したシカにより稚樹が食べられているため、将来にわたって原始林が残るかどうか危惧されています。



■奈良公園のシバ地はシカが管理人

シカに食べられることはシバにとって好都合なのです。競合する植物を食べてもらうことで、シバは十分に生長できます。食べられてもすぐに伸びてくるシバはシカにとっても都合の良い植物なのです。ニワゼキショウやシロツメクサなどの他の植物は、食べられないよう小さく生長して、花を咲かせ、種を作り、シバ地で生きています。シバの間の小さな花を探してみてください。



シカが嫌いなナンキンハゼの実生が伸びています。



シロツメクサはわずか1cmで花を咲かせています。

Deer memo

■シカの糞だらけにならない奈良公園



出したばかりのシカの糞

夏は1~2日で糞虫に分解されてしまいます。人に踏まれ雨で流れて消えてゆきます。



奈良公園を代表する糞虫

奈良公園には約1000頭のシカが棲息しています。シカは1日に500gの糞をされると言われるので、1年間には約200トンになります。それが残っていないのは、糞虫(コガネムシ類)などの分解者が沢山いるからです。日本では糞虫類は約160種が記録されていますが、奈良公園ではそのうちの42~45種が確認されています。



■シカとともに生きる文化・伝統



角による人身被害や油灯笼の破壊などを防ぐため1671年に始まった角きりは、奈良の伝統行事として親しまれています。

■シカとともに生きる工夫



今では防鹿柵なしで農作物を作ることはできません。



ネットで被わないと庭先の花も見ることができません。

Deer memo 

STOP!
えさやり
※鹿せんべい以外

人とシカの共生に悪影響を及ぼすため、シカにえさを与えてはいけません!!

奈良県 一般財団法人奈良の鹿愛護会

奈良公園では、鹿せんべい以外のものをシカに給餌することを禁止しています。

NARA DEER 奈良のシカ 第2版

発行 奈良県地域デザイン推進局奈良公園室
制作 奈良教育大学 教授 鳥居 春己
奈良教育大学自然環境教育センター
奈良教育大学理数教育研究センター
発行年 令和3年3月